

メモリ増設とパーティション変更

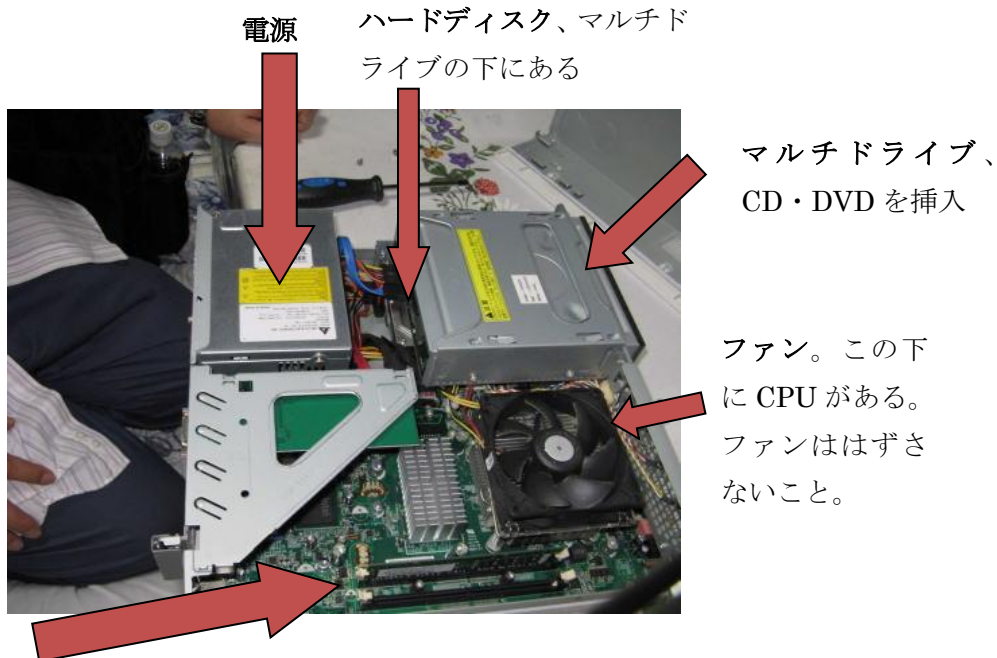


本体のカバーをはずす。

まず電源プラグを本体から抜く。
マウスの線、インターネットの線、印刷機の線も同様に抜く。
背面のネジ（2本）を外す。富士通は矢印が付いている。取り扱いガイドを参照してネジを特定する。間違えると本体中味の部品が外れてしまうので要注意。再度カバーを取り付ける時、背面から余裕をもって付ける。

井坂さんのアドバイス：メモリは、32bit の場合、4GB 以上は認識しません。
パソコンによっては、2GB までしか認識しないものもあります。
64bit はもっとたくさん認識します。

パソコン本体の内側



メモリ。2列になっている。下側が空いている。ご自分のメモリ容量を調べるには、「コントロールパネル」→「システムとメインテナンス」をクリックして開ける。メモリ容量の組み合わせに注意。総容量4Gの場合、すでに2Gのメモリが入っていれば、2Gのメモリを増設する。それ以上のメモリを入れても、パソコンは動作しない場合がある。

製品と同じ会社の部品が理想的だが、見つからない場合、他社製でも可。メモリはヨドバシとかの量販店で購入できる。川崎の場合、市役所通りの旧東海道の交差点にパソコン部品を扱う店がある。

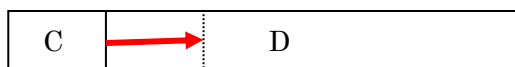
メモリスロット横のレバーを開き、スロットに差し込む。レバーがカチッと閉まれば OK

パーティション変更



ハードディスクには C と D の2つのディスクがある。上図はパーティション**変更後**のもの。C ディスクが 50G のうち 42G の容量を使用していた。20%以上の空きがあるのが理想的。ソフト追加、アップデートなどで自然とデータは C ディスクにたまってしまう。そうすると様々なトラブルの原因になる。D ディスクの容量を減らして、C ディスクの容量を空けるのが、パーティション変更という作業だ。非常にむずかしい作業で、普通は製造会社にパソコンを送って、専門家にお願いする作業である。今回は、井坂さんが自宅に来て行っていた。以下に作業の流れを紹介するが、専門家の手助けで行った方がいい。専門家が行っても、データが消えてしまうことがあるので、データのバックアップは必ず行っておく。最初にインストールした OS 等の入った CD を確認しておく。

井坂さんのアドバイス：C ドライブは最低でも、20%の空き、できれば 50%空きがあるのが望ましい。

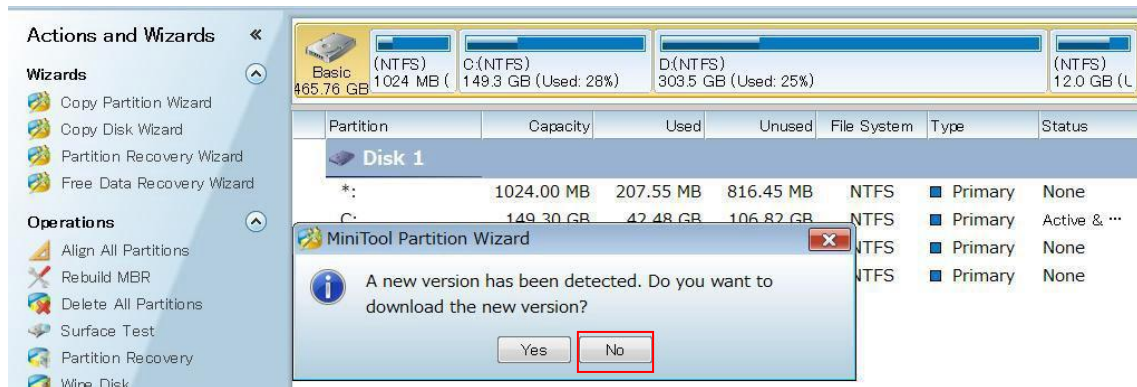


パーティション変更：C ディスクの容量を
を広げて、D ディスクの容量を減らす



OS（上記は VISTA）の中に、パーティションの作成という指示項目があるが、井坂さんによると、これを使うと D ディスクの右側が空いてしまい、C ディスクを広げることができないそう。つまり3つに区切られる）

Mini Tool Partition Wizard というフリーソフトを起動



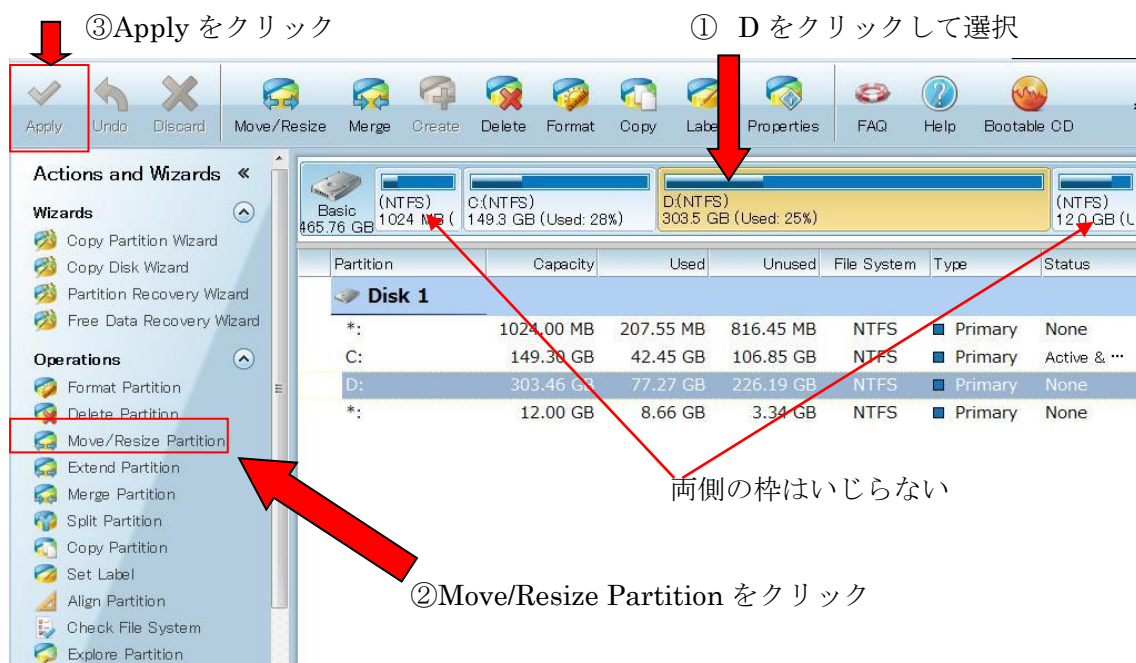
Mini Tool Partition Wizard というフリーソフトが井坂さんのお勧め。フリーソフトは Vector や窓の杜等で入手する。このソフトを開くと新しいバージョンのダウンロードを聞いてくるが、VISTA なら、これでいいので NO とする。

この点（バージョンの問題）が素人には難しい所で、インストールしたものが、自分のパソコンに適切なのかの判断がむずかしい。日本語版には C ディスクの圧縮ということをするソフト（検索エンジンでさがすと、これが出てくる）があるが、これだと C ディスクのデータはどうなるか不明です。（下記井坂さんのアドバイス参照）いずれにしても、自分一人で行う場合は注意して行う。以下は作業手順。

井坂さんのアドバイス：ダウンロードしたばかりなら、新しいバージョンを聞いてきません。私は、以前にダウンロードしたため、聞いてきました。

井坂さんのアドバイス：C ドライブを圧縮すると少し余裕ができますが、全体を一つのファイルとしてしまうので、トラブルが発生した時に全体が駄目になってしまう可能性があり、お勧めできません。

Mini Tool Partition Wizard の次の画面



D ディスクの容量を減らすので①D をクリック。②Move/Resize をクリックすると、D ディスクの容量変更画面が出るので、右からドラッグして、D のサイズを変える。③Apply をクリックして、決定する。(以下画面表示は略) 続いて C ディスクをクリックして、容量を拡大するので Extend Partition をクリックして変更画面を出す。D ディスクの減らした分量だけを、右に拡大する。同じく③の Apply で決定。

このソフトは英文仕様なので、注意を要する。ディスク破壊やデータ喪失の危険があるのを意識すること。

専門家に依頼したほうがよい作業である。

井坂さんのアドバイス : D ドライブの左側に空きを作らないと C ドライブを拡張できません。